

Grass Valley – IBC 2017 出展概要

■Grass Valley – IBC 2017 展示コンセプト (RAI, Stand 1.D11)

IBC 2017 ではライブプロダクション、ニュース、コンテンツデリバリーの各カテゴリーにおける”Content Your Way”を実現するための各種ソリューションおよび、それらを結ぶネットワーク製品群をご紹介します。SDI/IP ネットワーキング、4K UHD、HDR や WCG などに対応したグラスバレーの最新製品により、コンテンツが必要とされる場所、デバイス、時間といった要件に合わせた最適な制作、コントロール、配信環境を提供いたします。

【製品ハイライト】

ーライブプロダクションー Better than being there

[LDX 86^N カメラシステム / LDX C86^N コンパクトカメラ]

UHD(3840x2160) 3CMOS センサーを搭載したシステムカメラ/コンパクトカメラで、2/3 インチ B4 レンズマウント、HD/3G、HD 3 倍速/6 倍速、4K にネイティブ対応、DPM^{Ultra} テクノロジーにより HD/3G モード時には従来と同等のパフォーマンスを実現。 SMPTE ST 2084(PQ)と HLG の HDR や ITU-R Rec. BT.2020 色域(WCG)をサポートし、LDX 86 シリーズと同様に SMPTE ST 2022-6/2110 IP 対応ベースステーションや GV-eLicense によるソフトウェアアップグレードが利用可能で、Direct IP ライセンスによりカメラとベースステーション間を COTS IP スイッチと IP ネットワークで接続したりリモートプロダクションにも対応します。 LDX C86^N コンパクトカメラはシステムカメラ LDX 86^N と同一光学ブロックおよびビデオプロセスエンジンを使用することで、コンパクトながらシステムカメラと同等のイメージングパフォーマンスを実現します。

[GV Korona K-Frame V-series ビデオプロダクションスイッチャー]

3RU のコンパクトなフレームに最大 3 M/E+2 VPE(ビデオプロセスエンジン)、20 フルキーヤー、2DDPM、32GB イメージストア、RAM レコーダー、32x16 I/O 等のパワフルな機能を搭載し、SDQS/2SI 両方式の 4K 制作にも対応。 コントロールパネルは 1~3M/E の 3 タイプをラインナップし、オプションの DPM モジュールによる iDPM(2D/3D DVE)機能の他、IP I/O ボードにより SMPTE ST 2022-6、VSF-03/04 にも対応予定です。 会場では、Focus 75 システムカメラ、GV Matrix コンパクトルーティングスイッチャーと組み合わせたバリュープロダクションシステムとしての展示を行います。

[K2 Dyno リプレイシステム]

6 倍速、4K に最適化された K2 Dyno リプレイシステムは、ハイフレームレート映像におけるライブプロダクションにおいても様々なカメラポジションのリプレイを可能にします。 最新バージョンの 3.8 では ProRes フォーマットのサポート、事前に設定したルールに基づき、自動で指定フォーマットにエクスポートする機能や、クリップのタイムコード付け替え、アンシラリーデータの付与設定等が搭載されています。

ーニュースー Stories as they happen

[Ignite プロダクションオートメーションシステム]

報道や制作の現場において放送に関わる各システムを統合的に制御することが可能なソリューションです。スイッチャーから入カソースの切り替え、マルチビューワーの映像切り替え、報道システムと連動したプログラムの制御に至るまで、グラスバレーが提供する各システムをオールインワンでコントロールできます。

[GV STRATUS ビデオプロダクション&コンテンツマネジメントシステム]

報道やスポーツ中継等様々なワークフローで活用できる、フルセットのアプリケーションフレームワークです。編集サーバー内にあるアセット管理が可能で、素材情報、マーカーなどのメタデータの入力が可能です。カメラマン、記者、エディターなど、役割に合わせた使用環境(権限)を構築することもできます。今回の IBC 2017 ではモバイルデバイスから PC にいたる各 OS をサポートした Web ベースの STRATUS クライアントサポートや、STRATUS アプリケーションから直接ソーシャルメディアへのパブリッシュやの削除等の制御を可能にした GV STRATUS バージョン 6.0 の最新機能に加え、EDIUS の技術を継承したあらゆるファイルフォーマットのインジェスト、ルール設定によるエクスポートを可能にする GVRE Transcoder とのインテグレーションをご覧ください。

[EDIUS 9]

圧倒的なリアルタイム編集を誇る EDIUS の最新バージョン EDIUS 9 を先行して展示します。“Cloud Ready”をテーマにクラウドサービスと連携した新しい業務用ワークフローの提案をはじめ、Log 素材を最大限に活かした HDR エディティングのさらなる機能拡張と最適化されたエクスポーターを搭載しています。また、最新フォーマットのサポートや UI/UX の向上により、効率的で安定したビデオ編集を実現できます。

EDIUS 9 は、2017 年 11 月の発売を予定しており、2017 年 9 月 1 日以降に EDIUS 8 を購入されたお客様には、EDIUS 9 へのフリーアップグレード権利が与えられます。なお、EDIUS の旧バージョンから EDIUS 9 へジャンプアップグレードが可能なパッケージ販売も予定しています。

—コンテンツデリバリー—Connect and Monetize

[iTX On-Demand インテグレートドプレイアウト]

ビデオオンデマンドコンテンツのパッケージ化を効率化するグラスバレーの新しいソリューションです。収録中の映像ファイルから並行して処理することでコンテンツ処理時間を軽減し、ビデオオンデマンド各プラットフォーム向けにワークフローを自動化します。既に収録済みの番組でも、事前にパッケージ化し転送する機能も搭載している為、都度待機時間も軽減できます。インジェストからクオリティコントロール、コンテンツ管理、オーディオ・ビデオプロセッシング、グラフィックスやサブタイトル、オートメーションといったプレイアウトに必要な機能を搭載した iTX Playout やサードパーティソリューションとも連携が可能です。

[iTX Integrated Playout インテグレートドプレイアウト]

マルチフォーマット、マルチコーデック対応した最新世代のビデオサーバー iTX Integrated Playout は、4K や SMPTE ST 2022-6 対応の IP インターフェイス搭載モデルをラインナップしています。一つの筐体で 4K/HD や IP の入出力設定も可能、また 4K に特化した iTX UHD システムも発表します。いずれもシステム間におけるインジェスト、アーカイブ、QC、コンテンツ管理、送出制御、グラフィックスやトランスコード等様々な目的に使用できます。

—ネットワークング—Build a Solid Foundation

[GV Matrix マルチビューワー内蔵コンパクトルーティングスイッチャー]

中継車や小規模スタジオなどのフレームサイズに対する要求が厳しいアプリケーション向けのコンパクトルーターで、4RUというサイズながら3G/HD/SD/DVB-ASIの各フォーマットで最大144x144のルーティングが可能。クワイエットオーディオスイッチングやハイブリッドルーティングにも対応し、マルチビューワー内蔵型を含む4機種をラインナップしています。

[GV Node リアルタイムIPプロセッシング&ルーティングプラットフォーム]

リアルタイムのIPプロセッシングとルーティングが可能なSDIとIP SMPTE ST 2022-6/2110双方のブランキングスイッチおよびクワイエットオーディオスイッチングに対応した次世代ルーティングプラットフォームです。1ノードあたりベースバンドとIPの双方で144x144ビデオと2304x2304オーディオをサポートし、ノードを増設することでスケールに拡張することが可能です。モジュラー構成によりIP I/O、SDI I/O、マルチビューワーモジュールを実装可能で、Densitéシリーズの各種プロセッシングモジュールもサポートしています。

[GV Convergent IP ルーターコントロール&コンフィグレーションシステム]

COTS IP スイッチとの組み合わせによるIPルーティングに対応した新世代のルーターコントロールシステムで、SDIルーティングスイッチャーのコントロールパネルを使用してIPとSDI双方のルーティングを可能にします。GV Node、COTS IP スイッチ、SDIルーティングスイッチャーやIPG-3901 IP/SDIゲートウェイを包括制御し、SDI/IPハイブリッド運用を可能にします。

[Cisco IP ファブリック]

グラスバレーではブロードキャストデータセンターの重要な構成要素であるIPファブリック部分のパートナーとしてシスコ社とパートナーシップを結び、IPスイッチを含むシステムソリューションとしてお客様へお届けしております。コンサルティングから販売、設置調整、トレーニング、サポートまでの一貫体制でお客様のIP化をサポートします。

※出展製品は都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【カンファレンスセッション】

期間中、弊社各製品担当者が以下のカンファレンスにスピーカーとして登壇いたします。

・9月16日 10:25-11:10 (E102):

Mike Cronk, コアテクノロジー担当バイスプレジデント/AIMS チェアマン

[Efficient and Profitable Operations from the IT/IP Revolution](#)

・9月15日 15:30-15:50, 9月16日 10:00-10:20, 9月18日 17:00-17:20 (E106):

Mike Cronk, コアテクノロジー担当バイスプレジデント/AIMS チェアマン

[Methodology for integrating specialty cameras within IP Infrastructures using SMPTE ST 2110](#)

【パビリオン】



期間中、IPショーケースパビリオン(E106)に AIMS (Alliance for IP Media Solutions)メンバーの一員として参加致します。本パビリオンでは、AES, AIMS, AMWA, EBU, IABM, MNA, SMPTE, VSF 各団体のサポートにより、最新の IP 技術や業界としての統一見解、進むべく方向等の情報を提供するお手伝いをさせていただきます。

<https://show.ibc.org/ibc-features--events/ip-showcase>